

第6学年1組 学級活動指導案

平成15年9月30日(火) 第5校時
指導者 西川登小学校 教諭 坂井 まゆみ
児童数 40名 (男子24名 女子16名)

1 題材名 「いつまでも元気でね!おじいちゃん・おばあちゃん集会」をしよう ～御船荘の訪問・車いすのプレゼント・交流会～

2 題材について

児童の実態と願い	教師の願いと手立て
<p>本学級の児童は、4月から最上級生となり、なかよしグループ(縦割り活動)の中心として掃除や集会活動などでリーダー性を発揮し、下級生のお世話の仕方も上手になってきた。係や日直などの当番活動においても協力して仲良く取り組んでいる。</p> <p>自分たちが考え、実践することができる学級活動をほとんどの子どもたちは、「好き」と答えている。しかし、話し合い活動においては、自分の考えを発表するのが苦手と答える子が数名いる。</p> <p>これまで、学級活動では、「輝け!ONLY ONE 春の体育大会を成功させよう」「男女仲良くしようね集会」「1年生と仲良く遊ぼう集会」などの議題で話し合い、実践活動を進めてきた。いずれも計画委員会から実践まで互いに協力しながら意欲的に行い、満足感を味わってきた。これらの活動を通して、クラスの友達や下級生に対する思いやりの気持ちも少しずつではあるが育ってきている。</p> <p>本校では、数年前からボランティア活動の一環として、地域の協力を得ながらアルミ缶・ブルタブの回収作業に取り組んでいる。この収益は、特別養護老人ホームである御船荘のお年寄りの車椅子を寄付するために使われている。この活動に対しても児童は、意欲的に取り組み、本年度は既に2台の車椅子を購入することができた。そのことを知り、ぜひ、自分たちの手で届けたい、そして、お年寄りの方と一緒にふれ合いたいという児童の願いが高まり、本題材を設定した。</p>	<p>本学級の児童の実態を見つめながら、「ボランティア活動を通して、学級作りをしていきたい」と考えた。自分たちにできることは何かを考え、人の役に立つことを進んで行う態度や他者と触れ合うことで、豊かな心を育てていきたいという教師の願いからである。</p> <p>そこで、今回の御船荘のおじいちゃん・おばあちゃんとの交流会も高齢者の方と触れ合うことを通して、親切にしようとする態度や思いやりの心が育つであろうと考え議題化し、実践することにした。高齢者の方の立場に立って考え、優しく接することができるように、事前に「高齢者疑似体験」も計画した。この経験や昨年の交流会の実践を生かして、より相手のことを考えた話し合いになることを期待している。自分の考えに自信をもって発表することができるように、レポート活動やニコニコタイムを設定した。</p> <p>また、計画から実践までの活動を友達と話し合い、役割を遂行する中で、友達や自分のよさに気づき、協力することの大切さを改めて知るであろう。そうすることで、集団の一員としての自覚が育ち、子ども相互の人間関係が深まると考える。活動ごとに自己評価や相互評価を行いながら子どもたちの意欲を持続させていきたい。</p> <p>今回の実践で得た満足感や成就感が、思いやりのある言動や活動に対する意欲の高まりとなって、小学校生活の残りを最上級生として、下級生に温かく接してくれることを願っている。</p>

3 本題材の目標

- (1) これまでの生活経験や立場の違う相手のことを考え、相手に喜んでもらえる交流会の話し合いや実践を通して、相手を理解・尊重し、みんなで協力して活動しようとする態度を育てる。
- (2) 自分たちの手で、企画・運営し、実践できたという達成感を体験させ、自発的・自治的な態度を育てる。

4 研究の重点との関わり

<p>レポート活動の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年，経験した交流会を思い出したり，昨年交流会を経験した2・5年生や先生方にその内容や様子について取材させたりする。 ・高齢者の立場に立って考えられるように高齢者疑似体験をさせる。 ・先生方や父母，祖父母に意見を聞き，一人一人が自分の意見をもつようにする。 <p>ニコニコタイムの設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達と自分の意見を紹介し合い，意見の広がりをもたせるようにする。 ・友達に自分の意見のよさを認めてもらうことで，自分の発表に対する自信を持たせるようにする。 ・様々な意見にふれさせ，話合いの深まりへとつなげていくようにする。 <p>計画カレンダーの作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実践活動までの見通しをもたせるために計画委員会に作成させ，教室に掲示しておく。 <p>他者とのつながり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の方と交流することで，相手を理解して思いやりをもって接し，相手に喜んでもらうことのよさを実感させる。 ・レポート活動や，友達と協力して活動する中で，他者とふれあうことのよさを体感させる。 <p>指導と評価の一体化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己評価・相互評価を生かしながら，一人ひとりを伸ばし，活動の達成感や成就感を高めさせる。

5 評価規準

	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
事前の活動	学級・学校の問題に気づき，よりよい解決を目指して話し合おうとする。 題材に対して自分の考えをもとうとする。	提案理由やめあてを考えて，議事についての自分の考えをもつことができる。	これまでの経験や情報をもとに，自分の考えを書くことができる。 お互いの経験や情報を交換し合うことができる。	学級・学校の問題に気づき，よりよくしようとしている。 話合い活動までの具体的な活動計画の立て方が分かり，見通しをもつことができる。
司会団	計画委員会に意欲的に参加する。	議題について具体的な議案書を作成することができる。	学級活動計画表に基づいて事前の準備ができる。	話合い活動までの具体的な活動計画の立て方が分かり，見通しをもつことができる。
話合い活動	友達の考えを聞きながら自分の考えを言おうとする。 友達の考えを聞こうとしている。	賛成や反対などの意思表示がはっきりとできる。 提案理由やめあてを考えて，よりよい問題解決をしようとする。	レポート活動で得た情報を生かしながら，自分の考えを発表できる。 理由付けて順序だてて，自分の考えを言える。	友達の考えのいいところを生かしていこうとする話合い方が分かる。 自分のがんばりや友達のよさを見付けることができる。
司会団	自分たちで話合いを進めようとする。	柱に沿ってスムーズに話合いを進めている。	シナリオに沿って話合いを進めることができる。	柱の解決方法を理解している。
実践活動	友達と協力しながら活動する。	今回の取組のよかったところや改善点を示すことができる。	準備，実践と自分の役割を意識して活動する。	準備，実践と自分の役割を理解している。

6 活動計画

	活動内容	教師の支援	評価		
事前 の 活 動	9/18 (木) 朝 昼休 み	・議題の決定(全員) 【第1回計画委員会】 ・議題名の工夫と決定 ・提案理由の検討, 話し合いのめあて, 柱の検討 ・司会グループの役割分担決定	「高齢者とのふれあいをしたい」 「車椅子を届けたい」という児童の声を紹介し, 高齢者の方々に喜んでもらえる集会にするためにみんなで議題を決める。 みんなが楽しい気持ちになるような議題名と誰でも分かりやすい提案理由を考えるように助言する。 提案理由や話し合いのめあてについては, 内容を十分検討させ, 話し合いのよりどころとさせたい。	話し合い活動までの具体的な活動計画の立て方が分かり, 見通しをもつことができる。(知・理) 【観察・子どもの感想】 話し合いの柱やめあて, 必要な係などを考えることができる(表・技) 【観察】	
	9/25 (木)	・道徳「おばあちゃんの心」 思いやり・親切 ・総合 高齢者疑似体験 車椅子体験	誰に対しても思いやりの気持ちをもって接し, 親切にしようとする心情を育てる。 高齢者の体の不自由さを体験させることで, 相手の立場に立って手助けをしたり, 親切にしたりしようとする態度を育てる。		
	9/18 (木) 昼休 み	レポート活動の呼びかけ ・ 昨年の訪問の様子を写真で紹介 ・ 3・5年生への取材活動(全員)	昨年の訪問を思い出すことで, イメージをつかませる。 3年生や5年生が行った集会の様子や内容などレポート活動させる。 自分の考えをもつための参考になるように取材結果を整理させる。	レポート活動できたか。 (関・意) 【議案書・観察】	
	9/19 (金) 昼休 み 帰り 会	【第2回計画委員会】 ・取材結果の整理 ・学級活動計画表の作成 計画カレンダーの作成	学校行事の予定などを考え, 活動の見通しを持たせながら作成させ, 掲示する。 話し合う内容について, 自分の考えをもてるように助言する。	話し合い活動までの具体的な活動計画を立てようとしているか。(関・意) 【観察】 レポート活動を通して, 自分の意見を考えることができたか。(思・判) 【議案書】	
	9/19 ~ 25 (木)	・学級活動計画表の配布と承認 レポート活動の呼びかけ ・ 父母や, 祖父母に柱についての情報収集し自分の意見をもつ。			
	9/29 (月)	【第3回計画委員会】 ・学級活動の準備と打合せ ニコニコタイムの実施	話し合いの柱に対する全員の考えを把握させ, 進め方, 決定の仕方について助言する。 互いの考えを情報交換し, 話し合いへの意欲を高める。	 友達の考えを聞こうとしていたか。(関・意) 【観察】	
	9/30 (火)	・学級会 全員			
	本時	9/30 (火)			
	事後 の 活 動 予 定	10/1 (水)	・実践に向けて必要な事柄を計画委員で提案する。 ・係を分担する。	希望を優先させ, 係を決定させる。(一人一役) 計画カレンダーにそって進めるように励ます。	自分の役割を意識して, 活動しているか。(技・表) 【観察】
		10/1 ~ 10/ 14 (月)	・準備をする。	みんなで協力しながら集会を作り上げれば, おじいちゃんやおばあちゃんが元気になることを知らせ, 実践活動への意欲づけを行う。 おじいちゃんやおばあちゃんに喜んでもらえるように協力して準備をさせる。	友達と協力しながら活動しているか。(関・意) 【観察】
10/ 15 (火)		・集会活動 ・活動を振り返り, 次の活動の目標をもつ。	活動を振り返らせながら, 準備から実践までのよかったところや, 改善点などをはっきりさせ, 次の活動へ結びつくようにしていく。	今回の取組のよかったところや改善点を示すことができる。(思・判) 【評価カード・日記】	

7 本時の活動

(1) 本時の目標

- ・これまでの経験を生かし，おじいちゃん・おばあちゃんに喜んでもらえる集会になるように，よく考えて発言する。
- ・友達の考えのよさを認め合いながら，話し合おうとする。

(2) 本時の展開

時間	話合いの順序	教師の支援	評価
7分	1 はじめの言葉 2 司会グループの紹介 3 議題と提案理由の確かめ 4 話合いのめあての確かめ 5 話合いの柱の確かめ 6 計画委員会から	話合いのマニュアルに沿って進めさせる。 提案理由，話合いのめあてをきちんと確認させる。 計画委員会で決まっていることを確認させ，今日話合うことを明確化させる。	マニュアルに沿って自分たちで進めようとしているか。 (関・意)【発言・観察】
	・期 日 10月14日(火) 5時間目 ・プログラム 始めの言葉 2分 車いすのぞうてい 3分 【 プレゼント 30分】 インタビュー 5分 先生の話 3分 終わりの言葉 2分	御船荘の方からのメッセージを紹介し，話合いへの意欲づけを行う。 レポート活動やニコニコタイムを通して自分の考えに自信をもって発言することが大切なことを話し，発言に対する意欲を高める。	計画委員や先生からの話を聞いて，今日の話合いを見通し，話合いに臨もうとしている。(関・意) 【観察】
35分	8 話合い どんなことをしてふれあうか。 (いくつか型) 交流会を盛り上げるための工夫を考えよう。 (たくさん型) 9 決まったことの確かめ 10 観察係から 11 先生の話 12 終わりの言葉	司会グループには，話合いをスムーズに運営できるように，事前に話合いの柱ごとのフロアの考えを把握させておく。 これまでに訪問した他学年の情報を掲示し，話合いの参考にさせる。 提案理由や話合いのめあて，集会の時間などを考えながら，内容を決定させる。 これまでの取組を振り返りながら，できそうな意見に絞っていく。 できるだけ児童個々の考えが生かされるよう，可能な限り取り入れるようにする。 できるだけたくさんの子どもが発言するように発言側を巡回しながら助言していく。 話合いの仕方や個人的な発言内容に対する賞賛と司会団へのねぎらいの言葉をかける。 決まった内容について，承認し実践への意欲をもたせる。	レポート活動で得た情報を生かしながら，自分の考えを発表できたか。(技・表) 【発言・座席表】 提案理由やめあてを考えて，よりよい問題解決をしようとしていたか。(思・判) 【発言・座席表】 司会団は，事前の計画に沿って，話合いを進めることができたか。(技・表) 【観察・評価カード】
3分	13 自己評価，相互評価活動	話合い後，評価を行い，次回の話合いへの意欲付けをする。	自分のがんばりや友達のよさを見付けることができたか。(思・判) 【評価カード】

